IWATE MEDICAL UNIVERSITY NEWS

岩手医科大学報

2015. 12 No.471

発行者―理事長・学長　小川 彰

表紙写真の解説： 12月5日（土）、附属病院外来1階待合ロビーにおいて行われたクリスマスコンサート。本学オーケストラ部と小児科病棟に入院中の盛岡青松支援学校の生徒さんによる演奏に、入院患者さんやそのご家族が一足早いクリスマス気分を味わいました。

主な内容

特　集――― 健診結果から見た年代別健康管理・健康づくりについて
～健康管理センターから～

トピックス――― 有限会社遠野車輌工業様からの災害対策用車輌贈呈式が行われました

募金状況報告

フリーページ――― すこやかスポット医学講座№61
「脊柱変形に対する側方経路腰椎椎体間固定」

Iwate Medical University

特集

健診結果から見た年代別健康管理・健康づくりについて
～健康管理センターから～

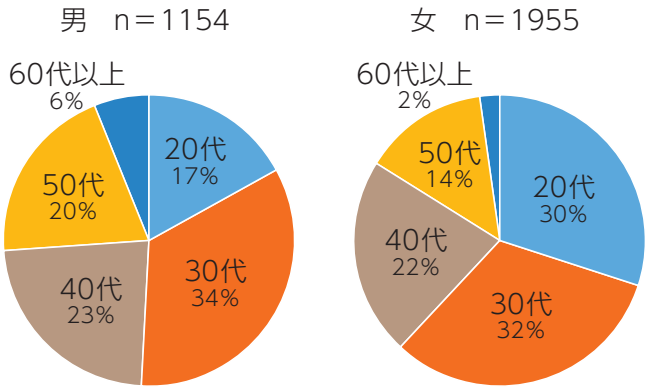
本学健康管理センターは、学生及び職員の健康診断や健康相談等を通じ皆様の健康への支援に関わらせていただいております。

対象は20代前後の学生から上は70代の方まで、定期健康診断をはじめ特殊健康診断等様々な健診を行い、健診事後指導は保健師が担当しております。

そこで、性別・年代別の健診結果を踏まえ、留意事項を掲げたいと思います。

平成27年度の職員等（大学院生・他団体含み）の受診者は3,109名（男1,154名、女1,955名）、年代構成は男女とも30代が最も多く詳細は図1のとおりです（平成27年10月時点）。健診結果から「要受診者」は758名（24.4%）で、そのうち「要受診者」の最も多かった年代は50代（男41%、女31%）でした。

図１　定期健康診断受診者　年代構成（H27）



要受診項目（３位まで）

[男　性]

	第１位	第２位	第３位
20 代	肝機能	中性脂肪	LDL-C
30 代	肝機能	LDL-C	中性脂肪
40 代	肝機能	中性脂肪	心電図
50 代	肝機能	中性脂肪	LDL-C
60 代	中性脂肪	糖代謝	肝機能

[女　性]

	第１位	第２位	第３位
20 代	尿蛋白	尿糖	貧血
30 代	尿蛋白	尿糖	貧血
40 代	尿蛋白	貧血	LDL-C 心電図
50 代	LDL-C	尿蛋白 心電図	血圧 中性脂肪
60 代	心電図	LDL-C	血圧 中性脂肪

特　徴

男性は　「肝機能」「中性脂肪」「LDL-C（悪玉コレステロール）」が各年代で上位を占めることから、若い世代からの偏った食事や運動不足など生活習慣で改善すべき背景があると考えられます。

女性は　「尿蛋白」「尿糖」が若い世代で上位を占めており、立ち仕事や食事時間などの影響が考えられます。20～40代の「貧血」は妊娠・出産の影響、また、中高年以降「LDL-C」が高くなっているのは閉経によるホルモン合成の低下の影響と考えられます。

日常生活面での留意事項

肝機能の検査値の高い方

①カロリー過剰にならないよう、バランスのよい食生活を！

②アルコールの制限

1 日の適量を守り、週 2 日は続けて禁酒し、しっかり肝臓を休めましょう

～適　量～
日本酒 1 合 or ビール (500ml 1 本) or ワイン (1/4 本：180ml) or ウイスキー (ダブル 1 杯)

③肝臓にやさしいとされる食品をとりましょう

- ●にんにく … ビタミン B 群・アリシン・メチオニンなどを含み肝臓の働きをサポート
- ●し じ み … アミノ酸・ミネラル豊富で肝機能をサポート
- ●ご　　ま … セサミンを含み肝臓の脂肪酸を減少
- ●牡　　蠣 … タウリンを含みコレステロール低下・血圧正常維持作用
- ●納　　豆 … レシチンが豊富で中性脂肪の排出促す・ミネラル豊富で肝細胞の新陳代謝を助ける

中性脂肪が高い方・LDL-C が高い方

①毎日の生活に運動を取り入れる

②食べ過ぎを防ぐ（全体の食事量を減らす）

摂取カロリーコントロール（適正体重の維持）…自分の食事の摂取カロリーを把握する

●適正エネルギー量の目安
適正体重 [身長（m）×身長（m）× 22] ×身体活動量

軽労作（デスクワーク）：25 ～ 30kcal
普通労作（立仕事多い）：30 ～ 35kcal
重労作（力仕事多い）　：35 ～ 40kcal

トースト 2 枚 500kcal
（マーガリン 10g × 2 個）

かつ丼 922kcal

③脂質・糖質をとりすぎない

油料理・肉類を減らし、青背魚・大豆製品を！

●脂質を減らすポイント
□グリルで焼く・蒸す・ゆでる □フライパンで油をひかず調理 □フライは衣を少なく

④コレステロールの多い食品を控える

卵・すじこ・キャビア・いくら・たらこ・エクレア・シュークリーム・即席めん・チョコレートなど

⑤積極的に食物繊維をとりましょう（毎食、野菜や海藻をとる）

きくらげ・かんてん・干しひじき・乾しいたけ・まいたけ・刻みこぶ・抹茶・焼き海苔・らっきょう・切干大根・グリンピース・きな粉・干柿・いんげんまめ・おから・野菜全般・海藻など

⑥ 1 日の間食は 150 ～ 200kcal 以内で！

…菓子パン・洋菓子・スナック菓子より脂質やカロリーの少ない和菓子へ

饅頭 1 個（35g）90kcal　あんパン 1 個（60g）170kcal　ショートケーキ 1/2（75g）195kcal

尿蛋白が陽性の方

運動・発熱・起立などの影響を受けやすいので、尿に蛋白が出やすい方は、休憩時に健診を受けてみてください。

尿糖が陽性の方

数日前からの食事や清涼飲料水などの内容、当日の摂取時間の関係で指摘される場合があるので、留意しましょう。

貧血の方

①適度な運動…運動しているとヘモグロビンは増えます

②十分な睡眠・規則正しい生活…不規則な生活が続くと鉄分が不足傾向へ

③バランスの良い食生活・鉄分の多い食品摂取を！

■タンパク質やビタミンC・葉酸・ビタミンB12を鉄分とともに摂りましょう

■鉄分多い食品:大豆、牛豚鶏レバー、小松菜、ほうれん草、春菊、切り干し大根、ひじき、あさり、牡蠣、しじみ、イワシ丸干し、まぐろ赤身、かつおなど

④緑茶・紅茶・コーヒーは食事との時間をずらしましょう

…成分のタンニンが鉄の吸収を低下させるので、できれば、ほうじ茶・麦茶などへ変更

血圧が高い方

①生活習慣の見直しから … 過剰なエネルギーの摂取や肥満、塩分の多い食事、運動不足、お酒の飲み過ぎ、ストレス・喫煙などはないか？

②塩分の摂取量に注意 …… 1日6ｇ未満

・インスタント食品、かまぼこ、ちくわ、ハムなど加工食品を控える
・麺類の汁は残す　・さしみ、寿司にしょうゆはあまりつけない　・漬物は減らす
・寿司飯、味付け飯、丼を控える　・スープ、みそ汁は薄味に　・外食は控える

※包装食品の栄養成分表示には食塩ではなくナトリウム（Na）表示されていますが、Na単位が「g」の場合は2.5倍すると食塩量に換算できます

③血圧を下げる働き（塩分を排出作用）がある「カリウム」食品を摂取しましょう

牛乳・魚・納豆・りんご・バナナ・ほうれん草・ひじき　※ただし腎機能の悪い方は注意！

④太り気味の人は体重を減らすことが大事です…適正体重＝身長(m)×身長(m)×22

⑤日常生活で体を動かしましょう（運動）

…エレベーターは使用せず階段を！通勤は徒歩・自転車の工夫を！

⑥節酒…**適量**（肝機能が高い方の項参照）を守り、習慣的な飲酒は血圧を上げるので要注意！

⑦禁煙…喫煙者は禁煙外来を利用して**禁煙に取り組みましょう**

⑧ストレス解消…日常生活を工夫したり**気持ちの切り換えを習得し**解消することが大切です

健康診断を受診することで、様々な自分の変化に気づくことも多いと思います。健康診断は早期発見・早期治療の目的で、学生は「学校保健安全法」、職員は「労働安全衛生法」に基づき実施しています。今後、全員が健診を受け、自らの健康状態に向き合い、日常生活でも留意されて行くことを期待し、健康管理センターでは保健指導の充実と、きめ細かい対応・健康管理をめざし今後も皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思います。

（保健師　藤井　ヌイ子）

さて、健康管理センターから健康診断の結果から健康づくりのために気を付けることが見えてきましたが、中でも**「日常生活での運動」**は大切だと分かります。
そこで、大学報編集委員でもある体育学科 小山 薫 准教授に**健康づくりに役立つ日々の運動**についてポイントを教えていただきました。

「いつでもどこでもプラス・テン」

教養教育センター　体育学分野　准教授　小山　薫　（健康運動指導士）

厚生労働省は２０１３年に「プラス・テン（今より１０分多く体を動かしましょう）」をキャッチフレーズに健康づくりのための身体活動を推奨しています。

岩手の冬は厳しい。あなたは冬眠していませんか？あなたは健康寿命が長い人生を送りたいと思いませんか？そのためには、年間を通じての身体活動が重要です。

風邪で1日寝込めば回復には3日かかります。ケガで1週間休めば回復には3週間かかります。

皆さんは朝起きて、洗顔、朝食、歯磨き、身だしなみ、お化粧（順不同）と必ず、家を出る前と帰宅後の生活習慣が組み込まれているはずです。ですから，毎日の生活習慣に「プラス・テン、１０分多く体を動かしましょう」を身につけることが健康につながります。

毎朝のラジオ体操放送６時３０分～４０分の１０分間（被災地では震災３日後、身動きもままならない体育館で住民自ら考え、始めたという話もうかがいました）。

１０分多く動くのには、歩数にすると１０００歩になります。歩くことは特に重要で、筋力・バランス力・スタミナと全身運動となり、転倒による骨折予防にもつながります。

凍結で道路が滑る場合は家の中や階段を踏み台代わりにして、口ずさみながらのステップ（その場足踏み）や家事もいいでしょう。（私のお薦めは、３６５歩のマーチ、ああ人生に涙あり（水戸黄門）、きよしのズンドコ節ですが、皆さんいろんなメロディーが自然と出てくると思いますが・・・？）

また、１０分間の自分流のストレッチ（猫ちゃん風伸び）、椅子を使ってのスクワット（下肢筋強化）、家族でのマッサージ（血行促進）でもいいでしょう。三日坊主でもいいですから、できるだけ、多くのことにチャレンジしてみて、自分の生活習慣に組み込まれたものが、なくてはならないものになるはずです。さあ、自分の生活習慣を考えてみませんか？

東日本大震災３日後の陸前高田市立第一中学校体育館のラジオ体操風景（釘子 明氏撮影）

引用：厚生労働省：健康づくりのための身体活動指針（アクティブガイド）

花巻温泉病院で第１回文化祭が行われました

11月２日（月）～７日（土）の５日間、花巻温泉病院において、第１回文化祭が行われました。

この催しは、「癒し」による患者さんへのサービス向上を目的に、今回初めて開催されたもので、教職員及び患者さんから寄せられた絵画・写真・手芸などの文化作品28点が展示されました。

期間中は約300名の来場者で賑わい、「展示品を見ることで気持ちがなごみます。」といった声や感想が多く寄せられました。

展示スペースの様子

第48回動物慰霊祭が行われました

11月２日（月）、矢巾キャンパス大堀記念講堂において、第48回動物慰霊祭が執り行われ、教職員約100名のほか、医・歯・薬学部の学生約300名が参列しました。

式では、昨年度実験に供された動物に対する黙祷の後、小川学長並びに学生代表の薬学部４年の夏堀陽子さんから慰霊の言葉が捧げられました。

続いて、参列者による献花が行われ、本学の教育・研究に貢献した実験動物の御霊に感謝するとともに霊が安らかならんことを祈りました。

学生代表による慰霊の言葉

平成27年度がん登録研修会が行われました

平成25年5月17日に設立された岩手県がん診療連携協議会 がん登録部会（部会長 病理診断学講座 菅井 有教授）において、岩手県におけるがん登録の精度向上と登録実務者の知識向上を目的に、がん登録研修会の開催が活動のひとつとして承認されました。

以後、春には岩手県内のがん診療連携拠点病院の実務者による自主勉強会を、秋は岩手県がん登録研修会を行ない、今年で3年目となります。

平成27年度岩手県がん登録研修会は11月7日（土）に岩手医科大学創立60周年記念館９階講義室で開催されました。

岩手県内のがん診療連携拠点病院のみならず、がん登録を実施している各施設に対して募集を行い、定員に余裕がある場合は医療圏としてつながりのある青森県、秋田県、宮城県等の近隣県に拡大し、日ごろ東京への研修会参加が難しい地域の向上心旺盛の皆さんに研修の機会を広く提供しております。

今年も講師として、国立がん研究センターより西本寛先生と江森佳子先生をお迎えして、126名という大勢の方々に参加いただきました。

当日は、平成28年１月１日から施行される全国がん登録に伴う院内がん登録の変更点などの情報提供を午前中の共通コースで、午後からは、初級コースとアドヴァンスコースの２コースに分かれるというプログラム構成で行われました。

国立がん研究センター　西本 寛先生

ハーバード大学歯学部学生のexternship研修の受入れを行いました

11月９日（月）～13日（金）の５日間、ハーバード大学歯学部学生のexternship研修（学外研修）が行われました。

本学歯学部では、新しい教育システムを構築し、教育･臨床における将来のリーダーを育成するため、平成23年度よりアメリカのハーバード大学との連携の下、歯学部改革に取り組んでおり、今回で３回目の受入れです。

今回は、ハーバード大学からはGhazal Khashayar（ガザール　カシャヤ）さんが来学し、歯科医療センターにおいて主に義歯外来での見学や実習を行いました。

歯科医療センターでの実習の様子

ボイラー安全祈願祭が行われました

11月９日（月）、西病棟地下１階ボイラー室において、ボイラー安全祈願祭が行われ、本学関係者約20名が出席しました。

神官による神事では、祝詞奏上・清祓いの後、本学関係者による玉串奉奠が行われ、ボイラーに対する感謝の念を深めるとともに、安全操業の誓いを新たにしました。

このボイラー安全祈願祭は、鞴（ふいご）を用いる刀鍛冶などの間で、毎年11月８日に鍛冶場を清掃し、火の神に感謝する習わしがあったことから、ボイラーデー（旧称：汽缶祭）にちなんで毎年行われているものです。

なお、本学のボイラーデースローガンは、「目と耳できっちり点検しっかり確認」です。

有限会社遠野車輌工業様からの災害対策用車輌贈呈式が行われました

11月16日（月）、矢巾キャンパス災害時地域医療支援教育センターにおいて、有限会社　遠野車輌工業様からの災害対策用車輌贈呈式が行われ、有限会社遠野車輌工業 菊田 隆 代表取締役会長・佐々木 定雄 代表取締役社長、本田 敏秋 遠野市長の他、本学からは小川理事長・学長、祖父江副学長、三浦副学長、眞瀬災害時地域医療支援教育センター長が出席しました。

この贈呈式は、東日本大震災津波の医療復興への取組み及び災害時地域医療支援教育センターを中心とした今後の災害医療提供体制の構築に役立つようにと、遠野市の支援の下、遠野車輌工業様よりトヨタ アルファードが寄贈されたことに伴い行われました。

遠野市及び遠野車輌工業様には、厚く御礼申し上げます。

レプリカキー贈呈
（左から：小川理事長、菊田代表取締役会長、佐々木代表取締役社長）

表彰の栄誉

田澤 豊 名誉教授が「瑞宝中綬章」を受賞しました

本学名誉教授の田澤 豊 先生は、平成27年度秋の叙勲において瑞宝中綬章を受賞しました。

田澤先生は、昭和36年3月本学医学部を卒業、昭和41年3月に本学医学研究科を修了され、同年4月、本学医学部眼科学講座副手となり、昭和50年4月に教授に就任し、学生部長、図書館長などを歴任され、平成17年4月に名誉教授の称号が授与されました。

田澤先生は、約30年にわたり眼科学講座を主宰し、卒前・卒後教育、基礎的・臨床的研究の遂行と指導を行い、眼科専門医として先進的で高度な眼科診療を実施しました。

研究面では、網膜電気生理学的研究を主テーマとし、米国留学中に開発したウシ摘出潅流眼装置によって温血動物の摘出眼球からの網膜電図の記録に世界で初めて成功するなど多数の実績を残されています。

臨床面では、角膜移植手術とアイバンク活動に尽力し、本邦でも有数の歴史と実績を誇っています。また、白内障・眼内レンズ・屈折手術国際セミナーを15年間にわたって開催し、我が国の白内障手術を世界レベルに達するまでの発展に貢献されました。

神経精神科学講座 酒井 明夫 教授が厚生労働大臣表彰（精神保健福祉事業功労者）を受賞しました

神経精神科学講座 酒井 明夫 教授は、平成27年度精神保健福祉事業功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞されました。

この表彰は、精神保健福祉事業（社会復帰事業を含む。）について業績をあげ、その功績が特に顕著である方に対し行われます。

酒井教授は、神経精神科学講座を19年にわたり主宰するほか、岩手県こころのケアセンター長・いわてこどもケアセンター長を務めるなど、本県の精神保健医療・教育・研究の中心的な役割を果たされています。

11月11日（水）、岩手県庁において伝達式が行われ、佐々木保健福祉部長より表彰状が手渡されました。

清水　尚　歯科技工部歯科技工士長が岩手県知事表彰（保健医療功労）を受賞しました

本学歯科技工部歯科技工士長の清水 尚さんは、長年にわたり保健医療に関する団体の運営に尽力し、その功績が顕著であったとして、平成27年度の岩手県知事表彰（保健医療功労）を受賞しました。

清水さんは、36年の永きにわたり、歯科技工士として業務に精励し、岩手県民の歯科保健医療に貢献したほか、岩手医科大学医療専門学校歯科技工学科において9年間、教員或いは教務主任として、歯科技工技術の継承はもとより、豊かな人間性を兼ね備えた技術士の輩出を目的とした学生教育に力を注ぎました。

超高磁場MRI診断・病態研究部門の亀田浩之医師、森太志ポストドクターの2名が第10回アジア・オセアニア神経放射線学会で受賞しました

この度、第10回アジア・オセアニア神経放射線学会（平成27年11月5日～7日、福岡）において、本学からの２演題（口演）が学術賞を受賞しました。

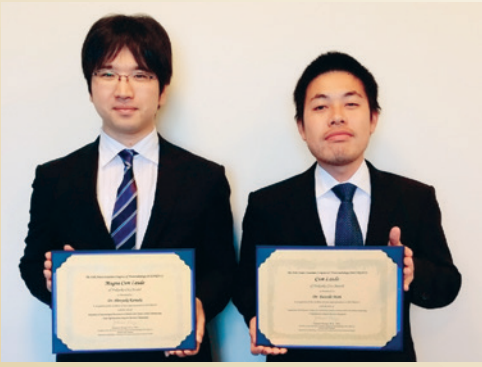
医歯薬総合研究所超高磁場MRI診断・病態研究部門の亀田浩之医師は、「7テスラMRIによる慢性脳虚血患者における軟膜血管吻合の評価」でMagna Cum Laude賞を受賞しました。本研究は、7テスラMRIで軟膜血管吻合を評価することで、慢性脳虚血患者の虚血重症度を無侵襲に推定できることを初めて示しました。

また、同部門の森太志ポストドクターは、「7テスラ高解像度MRIによる急性期脳梗塞患者におけるレンズ核線条体動脈の数値流体力学解析」でCum Laude賞を受賞しました。本研究は、7テスラMRIを用いて数値流体解析を行うことで、急性期脳梗塞患者においてレンズ核線条体動脈に壁剪断応力の異常があることを初めて示しました。

いずれの発表も脳血管障害患者の治療方針決定に役立つ研究として評価していただいたものと考えております。

上記の研究に対してご指導・ご協力頂きました多くの先生方・皆様に深謝申し上げます。

（文責：超高磁場MRI診断・病態研究部門 亀田浩之）



武田 さち恵 図書館事務室事務員が第15回全国障害者スポーツ大会で銀メダルを獲得しました

図書館事務室事務員の武田 さち恵さんは、10月24日（土）～26日（月）の３日間、和歌山県で行われた第15回全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま国体）アーチェリー競技（コンパウンド30mダブルラウンド）において、銀メダルを獲得しました。

11月26日（木）には小川学長を表敬訪問され、大会結果の報告を行いました。また、2016年に本県で開催される希望郷いわて国体に向け「金メダルを取れるように頑張りたい」と来年の活躍を誓い、小川学長と握手を交わしました。

理事会報告――10月定例（10月27日開催）

1．教員の人事について

歯学部　口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野　准教授
山田　浩之（前 鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座 講師）
（発令年月日　平成27年12月１日付）

薬学部　有機合成化学講座　准教授
田村　理（現　東北大学理学部化学科　講師）
（発令年月日　平成28年４月１日付（予定））

薬学部　臨床薬剤学講座　准教授
富田　隆（現　ホスピタル坂東薬剤部　部長）
（発令年月日　平成28年１月１日付）

2．学科設置に伴う組織規程の一部改正について

頭頸部外科学科を設置すること、及びそれに伴う組織規程を一部改正することについて承認
（施行年月日　平成27年11月１日）

3．日赤跡地の駐車場整備及び創立60周年記念館立体駐車場の運用停止について

日赤跡地への平面駐車場開設と創立60周年記念館立体駐車場の使用の停止について承認

4．看護学部教授の人事及び看護学部長予定者の選任について

5．看護学部の学納金について

入学金25万円、授業料100万円、実験実習費15万円の初年度計165万円、次年度以降計140万円、４年間納付総額585万円としたいこと、保健師養成過程においては15万円、助産師養成課程では20万円をそれぞれ別途徴収したいこと、入学検定料は東北地区私立看護系の全大学と同額の３万円とすることについて承認

6．学長の選任方針について

シリーズ 職場めぐり No.95

内科学講座神経内科・老年科分野

内科学講座神経内科・老年科分野は、寺山靖夫教授の下、18名の医師と1名の臨床心理士、８名の有能な研究補手の総勢27名体制で日々の診療・研究・教育に従事しています。その中の半数以上にあたる８名の医師と８名の研究補手、計16名が女性です。安倍内閣が推し進める『女性の活躍』が、既に当科では実践されています。

当科で診療する疾患は脳卒中、パーキンソン病やアルツハイマー病などの変性疾患、多発性硬化症などの脱髄性疾患、ギラン・バレー症候群や慢性炎症性脱髄性多発神経炎などの末梢神経疾患、多発筋炎や筋ジストロフィーなどの筋疾患など多岐にわたっております。超高齢化社会が進み、我々神経内科医の責任と重要性はさらに高まることと実感しております。

総合診療医として地域に根差した医療の提供と専門医の育成、積極的な研究活動に邁進し日々精進して参ります。

（特任講師　金　正門）

看護部（西病棟５階Ａ）

西５Ａは、急性期から慢性期の様々な疾患の患者さんが入院しています。小児がんの治療として行われる造血幹細胞移植は岩手県で唯一の実施機関となっています。

看護師は、「輪・和・笑」（わ・わ・わ）をモットーに丁寧な観察、丁寧な確認、丁寧な看護の実践に努め、こどもと家族の思いの傾聴を大切にしています。また、季節ごとの行事の開催やプレイルームの装飾などを行い、こどもらしさを大切にした療養が継続できるようつとめています。平成26年度からは移植後長期フォローアップ外来を開設し、担当者２名が外来に赴き、退院後の日常生活における不安や症状の把握、こどもの成長に伴うライフイベントなどに関連した悩みや相談に対応しています。

今後も患者さん・ご家族の気持ちに寄り添った看護が提供できるよう努力していきたいと思います。

（主任看護師　石川　麻湖）

岩手医科大学募金状況報告

【創立120周年記念事業募金】

平成26年６月から始まりました岩手医科大学創立120周年記念事業募金に対し、特段のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも格別なるご支援・ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

今回は第７回目の御芳名紹介です。（平成27年９月１日～平成27年10月31日、順不同、敬称略）

※御芳名及び寄付金額は、広報を希望されない方は掲載しておりません。

●法人・団体（５件）

<50,000,000> 株式会社　こずかたサービス（岩手県盛岡市）

＜御芳名のみ掲載＞ 医療法人　小原クリニック（岩手県花巻市）

株式会社　共同地質コンパニオン（岩手県盛岡市）

医療法人　都鳥会　とどり小児科医院（岩手県北上市）

医療法人社団　一陽会　神林耳鼻咽喉科医院（宮城県仙台市）

（順不同、敬称略）

●個人（14件）

<2,000,000>

齋藤　健一（一般）

金田　修身（医14）

<1,500,000>

徳永　三郎（他34）

<1,000,000>

佐原　元（医13）

岡山　かほる（医31）

金田　眞理子（医17）

<500,000>

徳永　花蓮（医61）

紺野　敏昭（医23）

<200,000>

色川　俊則（歯5）

＜御芳名のみ掲載＞

川村　賢朗（元職員）

大津　定子（医13）

中屋　重直（医23）

小野寺　美知子（父母）

新屋　久美子（元職員）

（順不同、敬称略）

区　分	申込件数	寄付金額（円）
圭陵会	266	220,680,000
在学生ご父母	196	129,955,000
役員・名誉教授	27	26,160,000
教職員	66	11,377,000
一般	22	19,940,000
法人・団体	71	288,000,000
合計	**648**	**696,112,000**

（平成 27 年 10 月 31 日現在）

《岩手医科大学報編集委員》

小川　彰　菊池　初子
影山　雄太　江刺家和恵
松政　正俊　佐々木さき子
齋野　朝幸　米澤　裕司
小山　薫　佐々木忠司
藤本　康之　畠山　正充
佐藤　仁　大須賀志穂
成田　欣弥　武藤千恵子
山尾　寿子　野里三津子

編集後記

今年も残すところ数日となってしまいました。例年より２週間ほど遅い積雪で少し暖かい冬になりそうですが、雪の少ないシーズンになって欲しいところです。

今月の大学報の特集は、健康管理センターからで検診結果から見た年代別健康管理・健康づくりについて掲載しております。日常生活の留意事項などで適度な運動や睡眠、規則正しい生活、バランスの良い食生活などを紹介しています。参考にして健康な毎日を送っていただければと思います。

皆様に良いお年が訪れますことをお祈りしております。

（編集委員　野里　三津子）

岩手医科大学報　第471号

発行年月日　平成27年12月31日
発行者　学長　小川　彰
編　集　岩手医科大学報編集委員会
事務局　企画部　企画調整課
盛岡市内丸19-1
TEL. 019-651-5111（内線7023）
FAX. 019-624-1231
E-mail: kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印　刷　河北印刷株式会社
盛岡市本町通2-8-7
TEL. 019-623-4256
E-mail: office@kahoku-ipm.jp

すこやか

スポット医学講座

No. 61

整形外科学講座　助教　山部　大輔

脊柱変形に対する側方経路腰椎椎体間固定

内閣府によると、我が国の65歳以上の高齢者人口は、最新の統計では25.1%（前年24.1%）であり、過去最高となっています。残念ながら、加齢と共に我々の身体は様々な部分に不具合が出てきますが、脊椎の変性変形により椎体が前後や左右にずれると（変性すべり症）、腰背部痛や、下肢の痛み・しびれといった神経症状が出現します。また、脊椎の配列異常により円背になると、心窩部が高度に圧迫され、逆流性食道炎にいたる場合もあります。これらの症状は日常生活を著しく障害し、健康寿命に大きく影響すると考えられます。

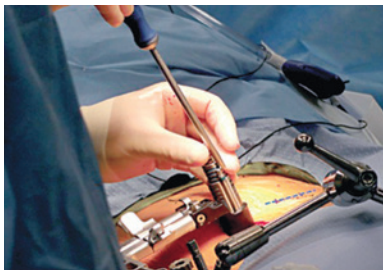
脊柱変形に対する手術療法として、近年普及しつつある側方経路腰椎椎体間固定（Lateral Lumbar Interbody Fusion、LLIF）という術式があります。小切開で後腹膜腔経路に腰椎椎体間固定を行える最新の低侵襲手術です。我が国に導入後2年が経ち、2015年11月現在、oblique lateral interbody fusion(OLIF、Medtronic社)とeXtreme lateral interbody fusion(XLIF、NuVasive社)の２つの術式が施行できます。単に小切開というだけでなく、椎体間に大きなケージを設置し椎体間をかさ上げすることによる、神経を直接触らない間接的除圧という面でも低侵襲な術式です。

脊椎脊髄グループでは、2014年3月よりOLIF（図1）を導入しており、関連施設での手術件数と合わせると約100例となり、全国でも指折りの件数となっております。

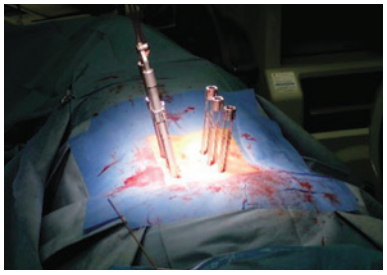
術後は、腰痛や神経症状が改善するだけでなく、脊椎の配列異常が改善し姿勢がよくなることで生活の質が向上することも、我々が収集しているアンケートの結果などから明らかになっています。

職員の皆さまのご家族や、ご親類の方で腰痛や下肢の痛み・しびれでお困りの方がいましたら、ぜひ一度、整形外科脊椎脊髄外来にご相談ください。

（図１）

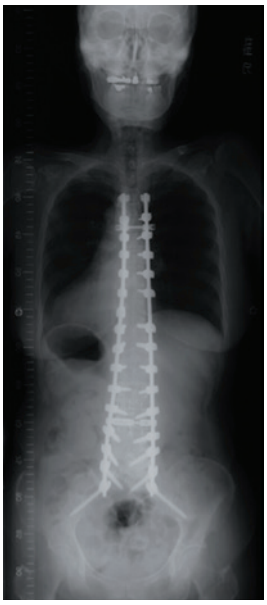


経皮的なケージの設置風景



経皮的スクリュー刺入風景

術前全脊柱正面像



術後